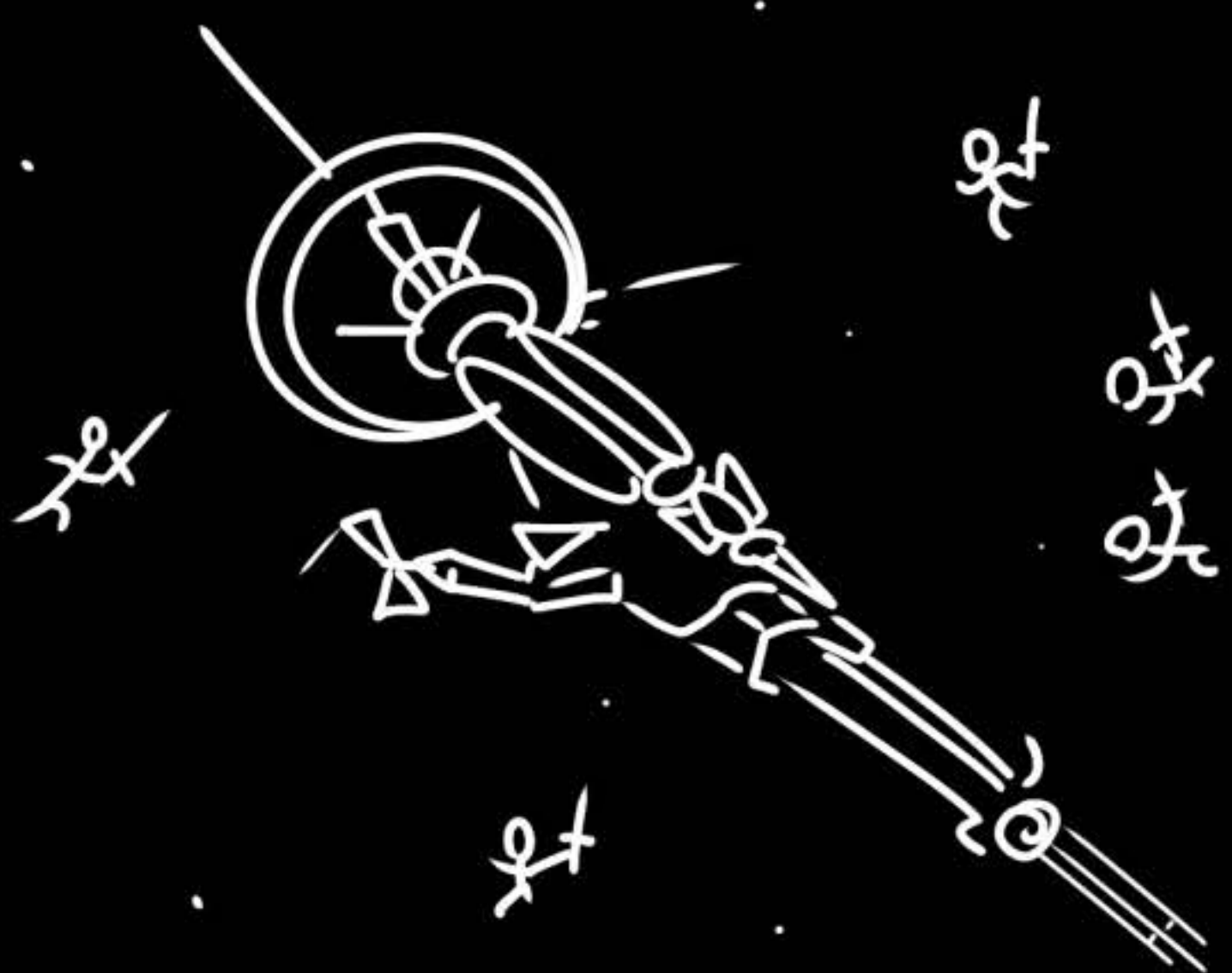


あ、  
宇宙ステーション「ヘルタ」が  
外敵から襲撃を受けています。



その混乱に乗じて忍び込んだ  
正体不明の二人組

カフカ



と

銀狼



彼女らは機密の一室に侵入。



そこで長年の眠りに  
封じられていた  
「Yくん」を目覚めさせよう。





銀狼の解析によると

Yくんはカフカ以外の  
記憶すべてを  
失っているはずでした。

しかし

どうやらカフカのことも  
なかなか思い出せな  
いようです。

お、お、お



START

どういう  
ことなの  
銀狼？

私のことは  
覚えてるって  
いったじゃない……っ

うーん……

彼にとって  
あなたは  
あまり重要で  
ないみたい

……っ!!

……いいわ。  
思い出さ  
せてあげる



ズン

んんん

んんん

んんん



え.

ちよつと  
カフカ...



...Yくん  
大丈夫よ

目覚めたばかりで  
混乱してるのね

ゆさっ

ゆさっ

ちゅん  
ちゅん

ちゅん

...うん、うん

ちゅん  
ちゅん



す…す…  
ゲンキね…

あんなに長く  
封印されてたのに…

その間  
一度も勃たせて  
ないはずでしょ…?

っ…?!

え、ええ…  
そそのはずよ



だ、だれ…  
や、やめ…ろ…



くち。

しち。

びん。

びん。

びん。

びん。

カフカよ♡

だっ  
ん  
ん  
ん

あ...

うおお?!

んく、  
思っヨ一ト♡

びん

ん

ん





んっ♡

くっ...  
じゅっ...

どお?

ね、ねえ  
カフカ...

ゆさっ

ゆさっ

はちゅ

はちゅ

私が誰だか  
思い出した?



Yくんのことは  
はちゃんと  
覚えてるよ♡

この…っ  
これえ…っ♡

カフカ

ゆさっ

…

忘れるわけ  
ないじゃない♡

はは  
ちゅ

ゆさっ

ふっ

はは  
ちゅ

ふっ

ねえ  
カフカっ

はは  
ちゅ



ももうっ  
なに？

エリオの  
脚本に  
よれば

星穹列車の  
人たちが  
もうすぐ来る

私たちは  
彼らと遭遇  
すべきではない

わかってるわ  
銀狼

もう少し、  
もう少しだけよ

どちゅー

どちゅー  
あんっ

ちゅー

ちゅー

ちゅー

んっ

んっ

んっ

あっ



昔みたい  
に  
いっぱい  
だしてえ♡

あーっ  
あーっ  
あーっ

うっ  
うっ  
うっ

ああ♡  
おいで♡

んっ♡

ふっ♡  
ふっ♡

ぬっ

ちゅっ  
ちゅっ

ぬっ

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

ぬっ

ちゅっ  
ちゅっ

ふっ♡



おっぱい  
おっぱい

んんん

おっぱい  
おっぱい  
おっぱい  
おっぱい

おっぱい  
おっぱい

んんん



はぁんっ...  
はぁ♡

Yくん...  
私のこと...

思い...  
出して...くれた?

えっ...

ん。

びん

びん

びん

びん

...



わ、分かんないっす…

ナニヤ?



!!

カフカ：  
ほらもう  
行くよ



???

だ 大丈夫よYくんっ  
ま、また会える日が来るから  
そのときちゃんとおもうd

ヤバっ  
誰か来た！  
先行くよ!!

ま まって  
銀狼!!!



FIN.